

# 学校評価アンケート結果報告

令和2年1月  
大阪高等学校

本校では、よりよい学校づくりを目指して改革を続けております。さらなる教育の環境整備と質的向上、教育成果の向上のために様々な取り組みを重ねて参りました。その成果を確認するとともに、更なる改善に向けた課題形成を図る機会として本年度も学校評価アンケートを実施しました。集計結果に分析を加えて、学校改革・教育改善の進捗をお伝えすべく本書面をまとめました。ご高覧のうえ、ご意見等を頂戴できれば幸甚です。

学校長 岩本信久

## 凡例と集計方法について

凡例：■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う

集計結果は、特に断りがない場合、「わからない」を除いた有効回答を分母とした百分率で表示しています。グラフ中の数値は小数点以下を四捨五入しているため、表示が一致しないことがあります。今後も情報発信の充実を図り、教育意図の説明をはっきり行うことで、皆様からご明確なご判断を仰げるように努めて参ります。

## 9割以上の保護者が肯定的に評価

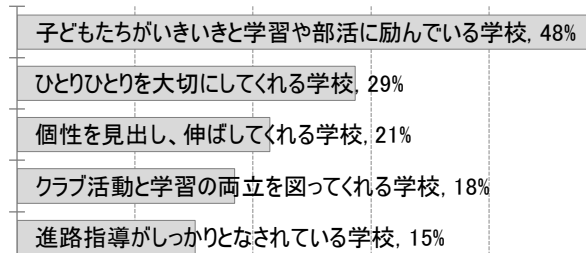
Q1 お子様を大阪高校へ入学させてよかった(知り合いや親戚にもこの学校を勧めたい)と思われますか。



「大阪高校に入学させて良かったか」という質問で総合的な満足度を毎年お尋ねしています。肯定的な回答が占める割合は9割を維持していますが、「どちらかといえば」のつかない積極的な肯定が徐々に増えているのが近年の傾向です。データ解析の結果では、総合的な満足をもたらす主要因は、「進路指導の成果」「規律ある生活の実現」「保護者からの要望への誠実な対応」「部活動顧問の熱心な指導」「充実した学校行事」などであることがわかっています。これらの項目の更なる充実に教育リソースを優先配分していくことで、本校を選択して下さった生徒・保護者の満足を今以上に高めて行きたいと考えます。個々の教育活動の総合的な満足への影響の度合いは、コースや学年によって異なることもデータで確認できました。それぞれの期待と不安をしっかりと受け止め、どの生徒にも入学して良かったと言ってもらえるよう、今後の学校作り、学校経営でこれまで以上にきめ細かなニーズの把握とその対応に努めていきます。

## 生徒がいきいきと日々を過ごす学校

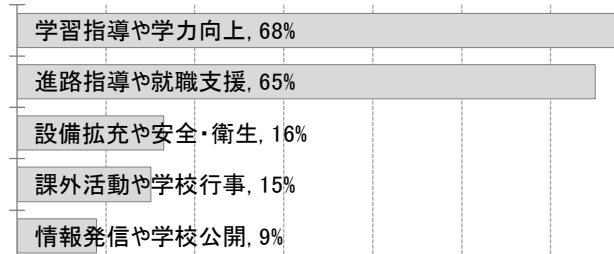
Q2 本校の特徴として次のどれが当てはまりますか。



本校の特徴は何かという問いには、保護者の48%（昨年度は47%）が「いきいきと学習や部活に励んでいる学校」を選んでいきます。選択率2位以下は「ひとりひとりを大切にしてくれる学校」（29%）、「個性を見出し、伸ばしてくれる学校」（21%）などが並びます。教育の個別化も話題になる昨今です。これからも生徒一人ひとりを大切に、いきいきと学校生活を送る中で個性を伸ばせる教育の実現を目指します。

## 学習指導と進路指導のさらなる充実

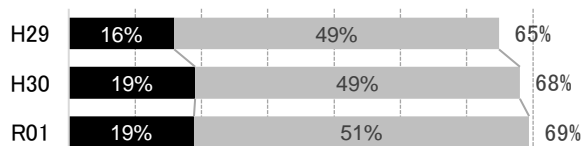
Q3 学校にさらなる充実を求めたいものは何ですか。



・学校にさらなる充実を求めたいものは何かという問いには「学習指導や学力向上」「進路指導や就職支援」の2つを多くの保護者がお選びになりました。新しい学力観への転換が進み、高大接続改革で入試も変わります。目まぐるしい変化にも十分な対応が取れるよう、全校を挙げて指導体制の整備と指導法の改善に取り組みます。

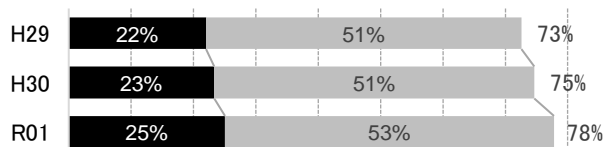
・「学校にさらなる充実を求めたいもの」として最も多くの保護者が選択した「学習指導や学力向上」については、Q4 に示す通り、毎年のように肯定的な回答が増えています。生徒による授業評価アンケートでは、「授業を受けて学力の向上が実感できるか」という質問で換算得点 75 ポイントを超える授業が、この 1 年間で 51% から 61% に増加しています。しかし、保護者の 3 割からはまだなお否定的なご回答をいただいております、改善は道半ばと考えます。教科学習指導の技能向上、指導計画の最適化を通じてこれらをゼロに近づけていく努力を重ねて参りたいと思います。本校の建学の精神は「全人教育」即ち、知育、徳育、体育のバランスのとれた教育であり、その核となるのは何と言っても知育です。協働的な学習、生徒が主体的に参加する学びへの転換にむけ、研修と研究を重ねております。その成果を今後ご期待ください。

#### Q4 学習指導は充実しており、学力向上に十分な成果を挙げていると思われませんか。

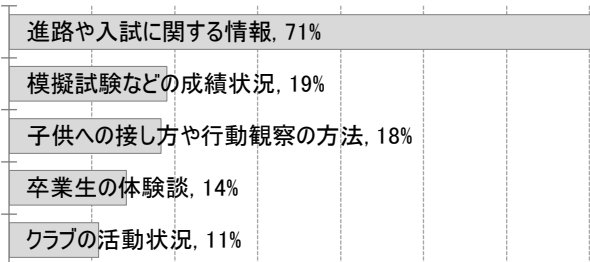


・選択率で僅差の 2 位となった「進路指導や就職支援」でも、Q5 に示す通り、肯定的な回答が増えました。高大接続改革では明確で根拠のある志望理由や進学後の学修計画なども合否判定の材料となります。3 ヶ年を通して、明確な進路意識・将来像を持った生徒を育てていく必要性は以前にも増して高まっています。新しい入試制度に合わせた指導計画へのアップデート、指導ノウハウの開発と共有を着実に進めるとともに、保護者の皆様にも入試関連情報をしっかりお伝えし、ご家庭と学校とがスクラムを組んで生徒一人ひとりの進路希望の実現を図っていきたくと考えます。ご協力をお願いするシーンも増えると思われませんが、宜しく願いいたします。

#### Q5 進路指導が充実しており、生徒の希望進路の発見・実現に十分に役立っていると思われませんか。



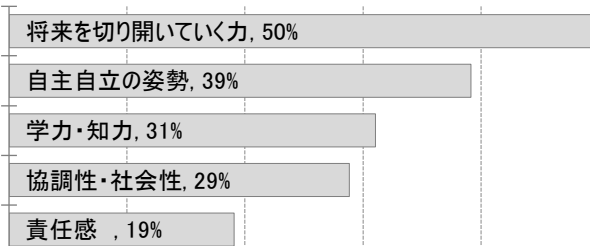
#### Q6 保護者会などで取り上げてほしいことは？



・進路や入試に関する情報を求める保護者の割合も 7 割を超えており、数字から進路指導・進路選択への関心の高さが窺えます。3 ヶ年に亘る計画的な指導をグランドデザインとして定立するとともに、薬・看護医療系を志す生徒や公務員を目指す生徒への支援プログラムも一層の充実を図っていきます。各フェイズの指導法、指導計画について担当分掌を中心とした研究を重ねると同時に、生徒、保護者に対して指導の実際や意図するところをこれまで以上にきちんとお伝えしたいと思います。取り組みの進展は保護者会や学校HPでお伝えしますのでご注目下さい。

### 将来を切り開く力の獲得へ

#### Q7 子どもに獲得させたい資質はどれですか。



・子どもに獲得させたい資質として最も多くの保護者が選んだのは「将来を切り開いていく力」(50%)です。選択率は昨年度の 47% からさらに上昇しています。これに続く「自主自立の姿勢」(39%)、「学力・知力」(31%)、「協調性・社会性」(29%) もまた、将来を切り開いていく力の一部をなすものですので、保護者の皆様がお子様の成長に関して学校に期待するところはますます明確になってきたと感じます。日々の授業、学校行事などあらゆる教育機会を通じて必要な資質・能力・姿勢の涵養を目指します。

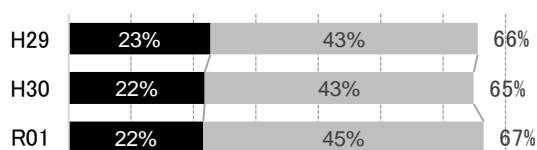
・自主自立の姿勢は、進路指導を通じた明確な進路意識の醸成と、日々の生活指導を通じた高校生に相応しい生活スタイルの確立とを両輪に推し進めて参ります。学力・知力は言うまでもなく教科学習指導の

充実と質的向上によって実現すべきものです。今年から開設された探究コースでの指導で開発・確立された探究型学習の指導ノウハウをすべてのコースの指導に役立てることで、より高い次元での学力・知力の形成に挑む所存です。また、協調性・社会性、責任感については、生徒が主役の学校行事もまた育成の重要な舞台ですので、その改善も進めて行きます。

**Q8 保護者の目から見てお子様は、学校生活の様々な場面で目標をもってひたむきに頑張っていると思いますか。**

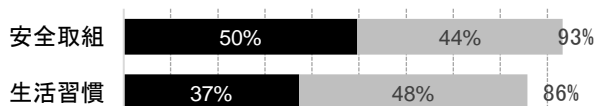


**Q9 お子様は、自分なりの目標や課題をもって日々の学習に取り組めるようになりましたか。**



・「お子様は、学校生活の様々な場面で目標をもってひたむきに頑張っていますか」という問いへの肯定的な回答は、昨年と同じ77%に止まりました。学習面に絞ってお尋ねした「お子様は、自分なりの目標や課題をもって日々の学習に取り組めるようになりましたか」という質問ではさらに10ポイントも下回る67%という結果でした。いずれも改善の余地が大きく残ることを改めて実感します。この結果を受けて有効な対策を講じて参る所存です。日々の学習への真剣な取り組みを阻害している要因をひとつひとつ解決していくよう指導を続けます。

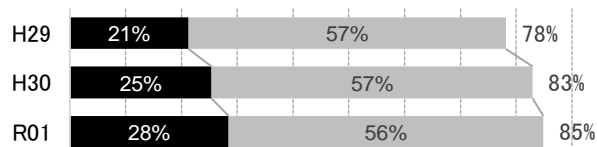
### 安全確保と規律ある生活の実現



「生徒の安全に対する学校の取り組み」と「高校生にふさわしい規律ある生活」の2項目では、昨年度とほぼ同じ高い評価をいただきました。高校生活の基礎・土台としてさらなる改善に取り組む所存です。今後の取り組みの中でご家庭のご協力を求める場面もあると思いますが、宜しく願いいたします。

### 学校広報充実のさらなる推進

**Q10 学校からの連絡文書や懇談会などを通じて学校の様子は十分に知ることができますか。**



様々な教育活動に取り組むとき、その意図と方法、及び成果を正しく伝えることが重要と考えます。学校ホームページでは、紙媒体／文字ベースの連絡文書では伝えきれない生徒が活躍の様子を保護者の皆様にお伝えすべく、昨年度よりPhoto Roomを開設しております。お時間の許すときにご高覧ください。学校の情報発信には過年度を超える肯定的な評価をいただきました。今後も改善を重ねて行きます。

**Q11 進路希望や将来の職業あるいは学校での様子などについて家庭で話をすることはあるか。**

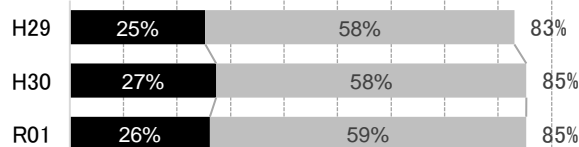
- ①話をする機会がよくあり、保護者も関心をもって会話に臨んでいる
- ②話をする機会はあるが、あまり突っ込んだ話にはならない



ご家庭での対話に関する評価はここ数年にわたりあまり変化がありません。時期に即した対話の材料を不足なく提供することにこれまで以上に注力し、ご家庭での対話機会を作る策を講じます。

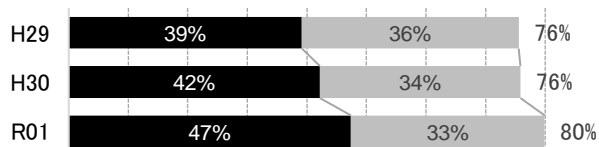
### 学校行事、部活動の指導

**Q12 学校行事が充実しており、行事についての様々な工夫や学校の姿勢が強く感じられますか。**



学校行事については、昨年度までに重ねた改善で肯定的な回答が85%まで増え、今年はこの維持した形になりました。学校行事は生徒の主体性や協働性を育む場として重要です。依然として「どちらかと言えば」の但し書き付きが多く、「生徒が主役！」の学校行事には更なる改善が必要と考えます。

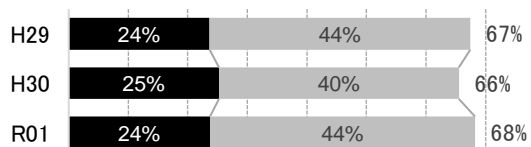
Q13 生徒の部活動に対して、クラブ顧問は熱心に指導していると思われませんか。



一方、部活動顧問の指導は、昨年度を超える評価をいただきました。今後も生徒の安全と健康に十分に配慮した上で、生徒が存分に活躍し、成長できるよう指導の改善を重ねて参ります。

### 将来を考えた行動選択、共存の資質

Q14 保護者の目から見てお子様は、自分の将来と結びつけて今なすべきことを考えられるようになりましたか。

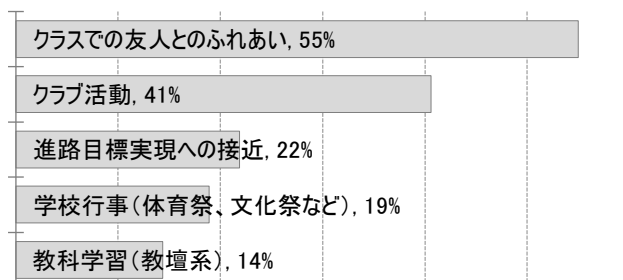


Q15 保護者の目から見てお子様は、立場の異なる相手の意見にもちゃんと耳をかたむけるようになりましたか。



学校評価アンケートでは、保護者の目を通した生徒の成長ぶりもお尋ねしています。「将来と結びつけた行動の選択」では肯定的な評価が7割に満たない状態であり、保護者の皆様が感じておられるもどかしさが窺えます。ポートフォリオを利用した振り返りを指導の中心に、抜本的な改善に引き続き取り組んで参ります。一方、「立場の異なる相手に耳を傾ける姿勢」は例年を超える高い評価です。

Q16 お子様在意欲や目標をもって学校に進んで通う姿勢を示している対象は何ですか。



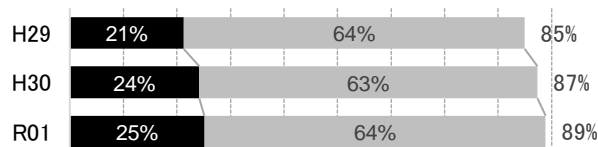
保護者の目から見た子供の意欲の対象は、右下図の通りですが、前掲のデータとも一致するところがありそうです。将来と結び付けた行動の選択とダイレクトに関連すると思われる「進路目標実現への接近」は、以前と比べると高い選択率であり、また学年が上がるほど高まってはいますが、学校全体としてはあまり大きな割合になっていません。進路指導の改善を推し進め、早期から進路意識の形成とその実現に向けた意欲的、計画的な行動を引き出します。

### 育友会の活性化、保護者との相互理解

Q17 育友会について	H28	H29	H30	R01
1. たいへんに関心があり、内容も分かっている	8.3%	6.9%	6.7%	6.8%
2. 関心はあるが、内容についてはよくわからないことが多い	34.2%	34.0%	33.0%	35.0%
3. あまり関心はないが、活動の内容はある程度知っている	25.5%	25.7%	27.3%	28.6%
4. あまり関心はないし、活動の内容もよく知らない	32.0%	33.4%	33.0%	29.6%

育友会は保護者と教職員の協力・連携の場として、生徒の健全な成長、教育の向上・発展を目的に設置された組織です。その活動内容を知っている保護者の割合は35% (Q17 R01列の1.と3.の計)とまだ低い値です。「活動内容に関心がある」とした保護者も僅かに増えましたが、未だに42% (Q17 R01列の1.と2.の計)に止まります。これまでの広報の不足を反省させられる結果です。

Q18 学校は、保護者や地域からの要望・意見に対して誠実に対応していると思いませんか。



保護者の要望・意見に対する学校の誠実な対応については、概ね良好な評価をいただけたようです。

大阪高校は今後も改革を続け、地域の期待に応える学校、在校生・卒業生が今以上に誇りに思える学校を目指します。今後ともご支援とご協力をお願いします。

本報告書へのご意見・ご質問は下記にて承ります。

TEL:06-6340-3031 FAX:06-6349-3719

保護者による学校評価アンケート担当: 教頭 上山 陽